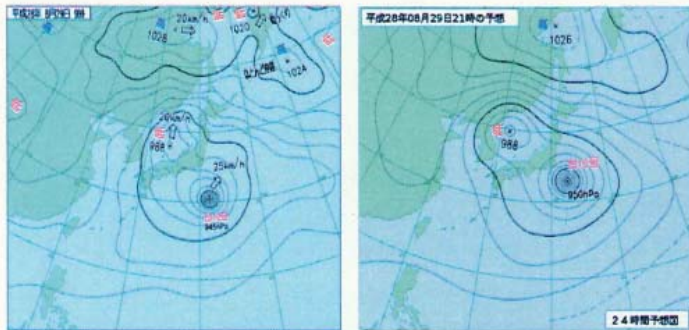


平成28年8月29日に開催された第2回木曾川上流水防災協議会の会議の中で、現在、日本に接近している台風第10号とその台風に伴う降雨について、地元の岐阜地方気象台の職員から、現時点の気象情報を提供し、当日29日の夜から翌日30日の朝までの注意を促した。

29日昼過ぎから30日朝にかけての大雨について
平成28年8月29日11時10分発表 「大雨と雷及び突風に関する岐阜県気象情報 第2号」より

岐阜県では、29日昼過ぎから30日朝にかけて大気の状態が不安定となるため、局地的に雷を伴った激しい雨の降る所があるでしょう。低い土地の浸水、河川の増水、土砂災害、竜巻などの激しい突風、落雷に注意してください。



[雨の予想]
30日朝にかけて予想される1時間降水量(多い所)
美濃地方、飛騨地方共に 40ミリ
30日12時までの24時間に予想される降水量(多い所)
美濃地方 100ミリ、飛騨地方 120ミリ

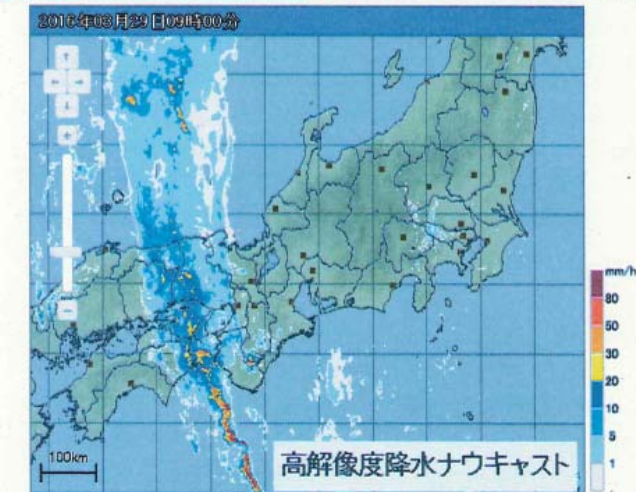


台風の中心が予報円に入る確率は70%です。

平成28年8月29日 第2回木曾川上流水防災協議会資料 岐阜地方気象台



岐阜地方気象台 熊田防災管理官



気象状況の変化に伴って現象の起こる地域や時刻、激しさの程度などの予測が変わることがあります。常に最新の情報をご利用ください。